

# 拓水

題字は 県漁連三浦会長

7月号

No. 142

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会 123  
兵庫県水産改良普及協会 新在家町  
神戸市兵庫区新在家2丁目  
発行人 三浦清太郎  
TEL 6685・695  
編集 拓水編集委員会  
発行日 毎月30日  
一部10円  
昭和43年10月18日  
第3種郵便物認可

写真説明  
タタン産汚染事件(海底のドロを満載、海岸へ集める漁民たち)西淡町御陣場  
庫先で三浦新聞社提供

## 湊沖の漁場被害に県は

### 「対策本部」を設置

6月13日未明、三原郡西淡町湊沖で発生した「工場廃液海上不法投棄事件」は、既に再三に亘って新聞・テレビ等に報道されましたが、この事件は湊漁協地先の漁場と水産資源に大打撃を与えました。帝國化工株式会社岡山工場のチタン精製廃液一六〇トン積んだ工場廃液運搬船第三幸徳丸が、その積荷廃液の全量を不法に投棄した場所は、水深僅かに七米、津井港の沖約三〇〇米のところであります。この付近は昔から稚魚繁殖の適地といわれ、昭和41年には県の手で保護水面を設けており、今夏からは県の手によって、三年計画で栽培漁業実践のパイロット漁場が造成されようとして、重要な漁場であるのです。こんな場所に第三幸徳丸は、悪びれもせず錨を打った儘の姿で硫酸を二〇パーセントも含んだ工場廃液の全量を投棄したのですから、水産資源にとってこれ程悪いことはありません。

漁獲の対象となり得るおびただしい数の魚貝類が焼けただれて無惨に死滅した被害は大きい。しかし、危険を感じて遠く逃散した無数の魚類、更にこれら魚貝類の餌料になる筈の無数の底棲生物、浮游生物類が死滅したための漁場価値喪失と、この地区特産といえる産卵直前になっていたクルマエビの全滅による漁業被害には実に測り知れぬ大きさと深さがあると思われまします。

県では事件の重大さから6月17日、副知事を長とする「工場廃液海上不法投棄対策本部」と淡路財務事務所長を長とする「同対策支部」を本庁と現地それぞれ設置して、この事件に強力に対処することに、早速被害状況を調査する一方、加害者側とも交渉を続けています。

また一日も早く漁場価値を回復させるため、廃液で特に濃厚に汚染された海域の掃海を実施すると共に、資源添加策として保護水面の餌料生物を詳しく調べ、アイナメの稚魚12万尾を緊急に放流することを決めました。

私ども腹が立つのは、第三幸徳丸が事件を起しても、帝國化工株式会社には賠償責任がないという問題です。帝國化工は辰巳商会に廢液の投棄を請負わせ、辰巳は三晃商会に下請させ、更に船員だけを持っていて船を持たない三晃は双葉海運KKに船(第三幸徳丸)を貸してもらって動いている実にヤコソイ関係です。左程、大きな賠償能力もないと思われる零細企業にこうした仕事を下請させ、親会社や元請は知らぬ顔で、しかもノルマ制で働かせている問題。ノルマ制のダンブパーが交通事故を起しやすいのに似ていると考えられます。こんな事件に対してきびしく取締る規則は数あるなかで県の漁業調整規則だけしかないと言つて過言ではありません。汚いものはすべて手取り早く海や川に流し、果ては、水産資源に有害な工場廃液の始末までも、もっぱら海上投棄に依存している今日の日本経済の姿はこれを機会に今一度よく考えてみなければならぬ大きな問題です。

(TDR)



### 工場廃液不法投棄対策

現地のメモから

被害漁場の掃海作業第一日を終えて、今日、6月23日の日曜日、この原稿を書いているのである。今日の「拓水」に、「官町のり養殖」をとりあげてみようと思つていた。先きに、この事件が起つた。詳しいことは、上記に書かれたので私は、メモで補足することにす。

6月13日 不法投棄発生する。はじめは尿だと思認していたが、被害が出て漁業者があつて。当該農林事務所御陣場師が漁協に、保護水面の調査に行つていた。で、直ちに実情調査開始、関係先へ連絡。廢液の採取等の確認に努力す。

6月14日 県公害課、県水産課、県水試、県環境衛生課と、地元のグループ(洲本農林、保健所、町)による現地状況検討と第一次の現地状況報告。また不安を訴ふる。

6月15日 ひき網による漁場調査を実施し、被害の海域がどこまで及んでいるかを、県水試御陣場師を主としたグループによって行ない、第二次被害状況の発表をする。

6月17日 県工場廃液海上不法投棄対策本部(本部長長坂井副知事)発足する。第二次漁場調査として、漁場の底質を調べるため潜水調査を行なう。

また、加害者側の三晃商会、双葉海運を呼び、被害についての認識と協議を行なう。

6月18日 県農林部長、県水産課長の現地調査及び西淡町工場廃液海上不法投棄対策本部(本部長山福西淡町長)との協議。県対策本部淡路支部の設置、加害者側への方針が固まる。

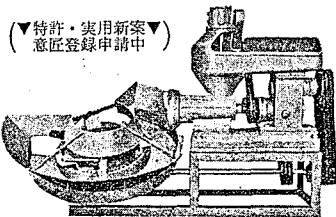
6月19日 水産庁長官官房公害担当、木村技官の現地調査。漁場調査の概要がまとまる。県対策本部淡路支部が決定、直ちに対策について現地発表。6月20日 県本部対策協議会が開かれ、各部門にわたつて検討。結果、早急に掃海実施の方針が決定する。

部が発足、直ちに対策について現地発表。6月20日 県本部対策協議会が開かれ、各部門にわたつて検討。結果、早急に掃海実施の方針が決定する。6月21日 午前10時30分、掃海実施現場協議及び試験掃海を三回実施。6月22日 午前5時より掃海実施、20隻が従事、県水試、非沢場長、掃海漁船に乗船、調査に当る。新聞、テレビに発表。6月24・25日 引きつづき午前6時より掃海。6月25日に、掃海した漁場を、県水試で調査し、以後の漁場対策を検討する。このようにメモしてみると、文字どおり「スピード」のある対策への歩み、といえる。現地において、漁業者に接する私達は、県本部の迅速な手配に全く感謝しているし、それは漁業者にすくやわけてゆくのである。これは、「生きていく県政」そのものといえると思つている。

被害を受けた漁業者の皆さんも、私復讐に一生懸命もあれど、私復讐しながら頭を打つてくると、「廢液を流した会社は償んであきたらぬ。しかし、被害からの立ち直りに、県や町は本当によくしてくれ」という漁業者の言葉が、私達にとって、心のやすまる一言となっているのである。また、県本部からかかつてきた電話のはじめに「大へんことが起きたよ、お苦勞さすぞ」ときまつきで、現地の話としては、心の温まる思いがしたのである。兵庫県の海面管理は、兵庫県が責任をもち、神経質に注意を喚起して、その点はよいのであるが、他県の工場廃液がこのようでは全く、とがわからなくなる。否定的なものでもこれが一番問題ではなからうか? その反省ははからずも、全体をさし出されたのが、今回の事件といえようである。ともあれ、西淡町湊沖、津井港の漁場は、廢液の硫酸等により、海底のタコツボに汚つて、海産物のタコツボの類まで全滅している。掃海作業を見守りながら、幽霊のように皮がダランとしたカレイやタコのとけかけたもの、まるいヒトデ、クルマエビの皮が船でたよる赤い色をして、バラバラになり、次々に網から上つてくるのは、まさに白黒のまぼろしの図である。しかし、漁場回復が決してはならないわけでもない、関係者はもとに戻す自信をもっているのである。(県洲本農林、吉中水産課長)

### 養魚の調餌から造粒そして投餌まで

(特許・実用新案) 意匠登録申請中



(船用ガソリン付・陸上モーター付)

### この機械がします

最近の人工飼料の需要の増加とともに、生魚と人工飼料をよっぽどよく練り合わせ、造粒装置チックで固型にして投餌する時代となりました。この一連の作業をこの機械が行ないます。

(細一級次第カタログ願望いたします)

ミートチヨッパーとプレート、ナイフの専門工場

株式会社 平賀工作所

神戸市長田区水笠通2丁目70番地 TEL 代表 神戸 62-1527



回想

井上正順

青年部の方から海苔事業をな指導と、そして献身的な... 努力により、初めての海苔が相当ついていて、アオを探してどんな事を書こうかと...

時の尊重

梅村 新一郎

(雑誌「コンサルタント」)

数年前、顧問先のD商事三〇〇万円以上であるとい... 数年前、顧問先のD商事三〇〇万円以上であるとい...

そのごの取組の手段は、スケジュールの変更などの... スケジュールの変更などの無形の損害も考慮をせ...

てみた時、その相違はあ... 現在でも特別賞はない... 一方加工にも問題はない...

が高かったがために、それ... その間いづれか不平不... 数増え林崎の海苔養殖も...

ある会社では、一人の選... 入るのと、対人理... にあつて大きな差があ...

自分の仕事なり生活なり... の時間配分、行動管理が... ききょうでビジネス処理...

私の場合、予定外の来客... があつたり、電話がかか... たりして、スケジュール...

時間にはルーズであるこ... とが当り前の人の会合で... いたる店街の人の会合で...

面会の際に、約束時間よ... りや早く行くのと、遅... 参して詫言を述べながら...

「磁気コンパスの自差」... コンパスは元来地球磁気の... ようになっているが、船...

採り、育て 繁栄をささえるクレモナ... 漁網・海苔網・ロープ... 倉敷レイヨン株式会社

神戸赤ディーゼル (使身になって作る赤熱機) 船用主機関... 低速4サイクルディーゼル... 中速ディーゼル...

どい...ばいん

(27)

○津井埠の青い流れ  
○鴨川の濁潮  
○沼島沖のエマラルドの海 上空より  
(N) 昭和四十三年六月十三日早朝  
淡路島の津井埠で  
工場廃液不法投棄による  
漁民の被害がおこった

○淡路島と紀伊水道附近の  
海図  
(O) 1  
○由良町漁運の共同荷さばき所  
次から次に補港する延縄漁船、漁船の活開に腹をみせて死んでいるハモ  
漁師1「(真顔で)今日日は上りが多い」  
漁師2「赤潮でも来たんかナ？」  
漁師3「(反ばつするよう)今年はいつとも赤潮にも冷たい、まだ赤潮なんかないるときはあない」  
話し合う漁師  
考えこむ漁師  
しめたハモを、カブネの  
水氷に入れる現場職員  
(B)

○事務所  
神戸新聞の記事に見入る職員ガヤガヤ話し合う仲間  
電話なる  
職員1「〇〇さん、洲本農林事務所から電話です」  
ほく「モンモン、ハイソウです」  
ハイ.....ハイ.....ハイ  
今この話を要約すると、ハモの死因は沼島沖で捨てた廃液だと思われているので、保衛所の方がかちえまわられるから、処分については保衛所の指導に従え

○この間、農林事務所係員が廃液は津井埠に全部投棄したと幸徳丸の船長が自供を認めたことを受けて、荒らすのが、集った者みなトサカに来て、事務所は熱いトツボ  
係員1「死んだハモを検査するから三、四本釣くませんか」  
ほく「どうぞ、もっともって行てください」  
延縄漁業者全員来る  
漁師4「捨てたところハッカリせんに、販売停止はとうとう」と  
係員1「もし人命にかかわる内容が、代表二人に電話の内容を説明  
保衛所係員二人くる  
農林事務所の係員くる。  
あいきつその後  
係員1「六月十三日早朝チタン製造によって生ずる廃液を、沼島沖へ、不法投棄した事件が発生しており、これをハモの異状死と関係がないか。公衆衛生の立場から調査したから、伊島にむかって約二十五軒の海域だ」  
係員2「図面をさしながら」  
係員3「操業した地点は」  
代表1「(図面をさしながら)沼島南方約一軒のこのころ、伊島にむかって約二十五軒の海域だ」  
代表1「(各記者ええ)あんな記事の出し方よって由良の魚が売れなくなる。だからあんまりなことを言かんようにしてくれ」  
記者1「新聞はあくまで事実を報道する機関です。だから真実をゆがめなくていいです」  
ほく「いくら事実を事実のままだ事にされても読む側は先づ大きな赤字だけを直感しちゃうもの。読者に与える影響が大きくなり、それがだる由良の魚にひびいてくるだ」

代表1「朝福ってきた折、漁業者の各家庭はみんな死んだハモを食ったというが、いまだなんの症状も出ていない。これで安心だといことが立証されていはいかなければ、「生活がかかっていることであるから充分調査し検討した上で指導して戴きたい」  
朝日、毎日、読者、神戸、読者の記者がスラリ  
いつの間にか  
代表2「廃棄処分にもなれば、今日勿論、京阪神戸の市況をハッキリ聞いたらでなければ、二、三日の出漁できなくなる」  
係員1「もし人命にかかわる内容が、代表二人に電話の内容を説明  
保衛所係員二人くる  
農林事務所の係員くる。  
あいきつその後  
係員1「六月十三日早朝チタン製造によって生ずる廃液を、沼島沖へ、不法投棄した事件が発生しており、これをハモの異状死と関係がないか。公衆衛生の立場から調査したから、伊島にむかって約二十五軒の海域だ」  
係員2「図面をさしながら」  
係員3「操業した地点は」  
代表1「(図面をさしながら)沼島南方約一軒のこのころ、伊島にむかって約二十五軒の海域だ」  
代表1「(各記者ええ)あんな記事の出し方よって由良の魚が売れなくなる。だからあんまりなことを言かんようにしてくれ」  
記者1「新聞はあくまで事実を報道する機関です。だから真実をゆがめなくていいです」  
ほく「いくら事実を事実のままだ事にされても読む側は先づ大きな赤字だけを直感しちゃうもの。読者に与える影響が大きくなり、それがだる由良の魚にひびいてくるだ」

○沼島沖のエマラルドの海  
○鴨川の濁潮  
○津井埠の白く濁った流れ  
(N)  
こうして由良のハモは、その日完らなく冷置庫に入れておられ公費で、環境衛生課、水産課、保衛所の合同調査の結果、午後八時半頃  
① 投棄地点は三原郡四阪町津井埠にあることが事

○荷さばき所  
生きたハモ入札する  
死んだハモ全部冷蔵車に入れる。  
代表1「(各記者ええ)あんな記事の出し方よって由良の魚が売れなくなる。だからあんまりなことを言かんようにしてくれ」  
記者1「新聞はあくまで事実を報道する機関です。だから真実をゆがめなくていいです」  
ほく「いくら事実を事実のままだ事にされても読む側は先づ大きな赤字だけを直感しちゃうもの。読者に与える影響が大きくなり、それがだる由良の魚にひびいてくるだ」

③ 湖流の速さとその時間  
の変化。投棄地点と操業  
地点の距離的な関係。  
④ 被害の確認された地点  
が限られ、鴨川海峡が  
広い漁場では魚の異状  
死は認められなかった  
という理由で、ハモと廃液  
とは直接関係ないと発表さ  
れ、これに関係した人達は

思(35)世の記

一葉落ちて 風来漁人

丑山行き苦勞な私に  
したら故に刺された程にし  
かたえなかつたが、村山  
にして見るとトリダー、格  
私にハモをやって、ひい  
目に迷わされたとか考  
なんかが全部死んだ。  
これが報道されて由良の  
が何ヶ月も売れなくな  
て漁師も仲買人も大窮  
したことを忘れたんか  
誰が保衛所に通知した  
だ」  
仲買人2「明日のことが  
新聞に出て、由良のハ  
モは売れんぞ、入札した  
ハモは引き取ってくれ」  
そう然となる事務所  
係員1「上司とよく相談  
て自分の連絡をするまで  
販売しないように」  
(WS)  
○沼島沖のエマラルドの海  
○鴨川の濁潮  
○津井埠の白く濁った流れ  
(N)  
こうして由良のハモは、その日完らなく冷置庫に入れておられ公費で、環境衛生課、水産課、保衛所の合同調査の結果、午後八時半頃  
① 投棄地点は三原郡四阪町津井埠にあることが事

念とは出てない。彼  
も日向の新しい村にいた頃  
は勇ましい好んだ、グラ  
「ここではなまけ者の幹  
部、征伐の急先鋒であり、  
フロントティアスピリット  
(開拓者魂)を標榜する気  
を具えた人間であった  
私と共闘した人間であつた。  
詩を作るより田を作れと  
大に呼ばれて呼ばれてあ  
だ。しかし今となっては  
彼は私の野心家のガメン  
と無神経とも見えるし、  
に感じ出た。何よりも体  
力的に下って行かないと悟  
ったし、顔さろくに洗わ  
ぬ位に仕事に打ちこむ私  
だ。就きの暇さえないよ  
な耐えがたい苦行の生活  
何年でもつづけて行こう  
と誓った。そして、私  
の悪政が生んだ貧困と教育  
不毛などによる生活のひず  
みのもたらずに、あれ  
て、民族にはすくなく、  
質と能力をもっていること  
は確かである。彼等と手を  
携えて、政府の植民地政策  
などとは対照的に、強い  
目的つながら、理想  
的集団を築く。そこには民  
族の反目も階級争も、貧  
富の差別さえも存在を許さ  
ない。この土地が不適宜なら、  
ゆけばよい場所をさがさ  
せば必ず見付かるだろう。  
村山にもこのような扉と

普通の  
!!サングラス  
ではありません

伸縮自由

ギラギラした  
“あなたの目を海から守る”  
三菱保護眼鏡 (ダイクローム偏光めがね)

- 目に強い刺激を与える海面の反射光を除いて長時間の漁業作業でもあなたの目は疲れません。
- あなたの目に有害な紫外線を通しません。
- 一般の着色サングラスより薄く掛けられた感じがせず爽快です。

◎この偏光メガネは国鉄指定品として新幹線  
運転手の方々に使用して頂いております

三菱電機株式会社